JA静岡経済連

KEIZAIREN 情報8

2020.08 NO.1271

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

JAとともに地域社会の支援に取り組む「くらし支援部」



くらし支援部（飲料事業）



JAタウン（ワサビ販売）



SBSテレビの取材に協力

特　集

JAとともに地域社会の支援に取り組む「くらし支援部」……01

topics&news

たまごと花の地産地消をPR

たまご購入者に花のプレゼント……03

JAタウンの取り組みをPR

流通開発課がテレビ局取材に協力……03

工事の安全を祈願

JAみっかび柑橘選果場起工式……04

競争力の強化を

令和元年度静岡県農協葬祭事業連絡協議会総会及び令和2年度第1回静岡県農協葬祭事業連絡協議会…04

明日への期待を担う

令和2年度新入職員本採用辞令交付式…04

環境モニタリング機器の説明会

「はかる蔵」説明会を開催……05

静岡県産地技術課題解決研究会

JA御殿場タマネギ出荷目揃会……05

営農支援だより

柑橘園の雑草管理について……06

最新研究紹介　農林技術研究所だより

土着天敵を活用したミカンサビダニの総合的防除体系の確立…07

お知らせ

野菜花卉課より「静岡の花」SNSのご紹介…09

JAタウン しずおか「手しお屋」のオススメ商品…09

建設部からのINFORMATION……10

あぐりんく静岡からのお知らせ……10

Main topics

JAとともに地域社会の支援に取り組む「くらし支援部」

Ⅰ はじめに

本会は、令和2年度をスタートするにあたり、「新時代への挑戦、農業の飛躍・経営の革新」を目指して「JA静岡3か年計画」を策定しました。同時に、この計画を円滑に進めるため、機構改編を実施し、新設の部が2部、新設の課が6課誕生しました。その中から、今回は、新しく生まれた「くらし支援部」をご紹介いたします。

JA静岡経済連機構図（概略）
（2室、10部、20課、1工場）
印新設部署

- 監事室
- 監査室
- 企画管理部
  - JA支援課
  - 企画管理課
  - 経理課
- 総務部
  - 総務課
  - 人事教育課
- みかん園芸部
  - 柑橘果樹課
  - 野菜花卉課
  - 営農資材課
- 茶業部
  - 茶業課
- 生産資材部
  - 生産振興開発課
  - 肥料農薬課
  - 農業機械課
- 営業部
  - 流通開発課
  - 特販課
- くらし支援部
  - 生活葬祭課
  - 総合エネルギー課
- 食糧部
  - パールライス袋井工場
  - 食糧課
- 畜産部
  - 畜産課
  - 食肉課
- 建設部
  - 建設課

Ⅱ くらし支援部の誕生

くらし支援部は、令和2年4月1日より新組織としてスタートしました。1部2課（生活葬祭課と総合エネルギー課）、総勢32人の大きな組織体制です。昨年度まであった、生活部店舗生活課と葬祭総合課、燃料部石油課とガス課の2部4課の事業を引き継ぎます。

くらし支援部は、農家・組合員のくらしに必要な生活用品等の供給、サービス活動を通して、JAを中心とする地域社会の支援に取り組んでいます。

Ⅲ くらし支援部の事業

❶生活葬祭課

生活葬祭課の事業は、次のとおりです。

(1)店舗事業

①Aコープ事業は、県下Aコープ店舗10店舗で、地域の生活インフラ店舗の運営支援を行っています。

②飲料事業は、みかん果汁や茶葉の原料消費拡大を目的に、オリジナル飲料の販売を行っています。県内JAおよび県外JAグループへの販売をすすめています。

(2)生活事業

①パルシステムとの協業で食材宅配事業を県下4JAで開始し、買い物支援に取り組んでいます。

②健康サロンの開催による健康機器の推進、家庭配置薬事業を通して、組合員の健康支援に取り組んでいます。

③通販事業として、水の宅配便と旬鮮倶楽部を継続推進しています。

④スーツの採寸会、JA生活用品展示即売会を開催し、衣料品、日用品の拡販をすすめています。

(3)葬祭事業

①追悼コンサートや事前相談会等の行事を開催し、事業の基盤強化を図っています。

②西部葬祭センターのギフト加工、セレモニア佐久間の葬祭ホール利用等拠点加工事業を推進しています。

③静岡県農協葬祭事業連絡協議会を年間4回、リーダー研修会を継続開催し、JA職員の資質向上を図っています。


▲クミアイ家庭配置薬の豊富なラインナップ


▲本県特産品を活用したオリジナル飲料


▲生花祭壇の一例


▲安心・安全にこだわったエーコープマーク品

2 総合エネルギー課

総合エネルギー課の事業は、次のとおりです。

(1)石油事業

①燃料拡販策としてキャンペーンを実施しています。

②油外収益拡大策としてキーパーコーティングを推進します。

③燃料供給拠点の永続化のためSS収支改善と施設改善に取り組んでいます。

④SSコンプライアンス管理者研修会を開催し、法令遵守および事故防止等の研修を行っています。

(2)ガス事業

①取扱数量の維持拡大策として、販売店間の拡販を競うクミアイプロパンチャレンジレースならびに燃料転換運動を実施しています。

②営農用の需要拡大策として、光合成促進機の普及に取り組んでいます。



▲JASS-PORT熱函

③ガス事業の保安強化を図るためJA業務主任者研修会を開催しています。

④消費者の安全確保を図るため、安全化システムの加入普及に取り組んでいます。

Ⅳ 自己改革の取り組みと成果

本会では、自ら改革に取り組むと共に、JAの自己改革を支援しています。令和元年度に成果を得た取組の中から、現在、くらし支援部に所属する各課が実施した内容について報告します。

1 店舗生活事業

(1)静岡県産茶葉の消費拡大のため、特保茶飲料の販売促進を行いました。

(2)パルシステムとの協業に伴い、高齢者を対象とした安心見守りサービスの普及に取り組みました。

2 葬祭総合事業

(1)静岡県農協葬祭事業連絡協議会では、継続型リーダー研修会を開催し、JA職員のスキルアップを図りました。


▲エネファーム

(2)葬儀の小規模化に伴い、新たなイベントに参加し情報収集を行いました。また、葬祭ホールでの追悼コンサートを実施しました。

3 石油事業

営農用免税軽油の取り扱いについて、SS等でのぼりを設置するなど、啓発に努めました。

4 ガス事業

LPガスの災害時での強みを生かし、LPガス発電機の普及推進に取り組みました。


▲葬祭研修会の様子



▲大井川プロパンガス充填所



▲総合エネルギー課(石油)


▲生活葬祭課(店舗)



▲総合エネルギー課(石油)


▲生活葬祭課(生活)



▲総合エネルギー課(ガス)


▲生活葬祭課(葬祭)

Ⅴ おわりに

本年度発足した「くらし支援部」は、農家・組合員の日々の暮らしを支え、元気な地域づくりに取り組みます。コロナショックに負けないで頑張りますので、皆様方のご支援とご声援をお願い申し上げます。

たまごと花の地産地消をPR

たまご購入者に花のプレゼント

7月18日、鶏卵生産会社「富士たまご㈱」は、富士市のマックスバリュ富士八幡町店で「たまごの購入者に花を贈るキャンペーン」を開催し、本会（畜産課と野菜花卉課）がこれに協力しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で消費が低迷する花きを、たまごと一緒に地元の消費者に楽しんでもらい、花き生産者を元気づけることが目的。

職員はフェイスガードやマスク、手袋を着用するなど、コロナウイルス感染防止対策を取った上で接客しました。

キャンペーンでは、たまごを1パック購入したお客さまへ、本県が生産量・生産額ともに全国1位の「クルクマ」の花束をプレゼントしました。用意したクルクマ200セットの配布は午前中で終わり、キャンペーンは盛況でした。同社は今後も継続して同様の行事開催を検討しています。







JAタウンの取り組みをPR

流通開発課がテレビ局取材に協力

5月27日と6月16日、流通開発課は、本会ネット通販サイトでの取り組みについてテレビ局2社（SBS、NHK）の取材に協力しました。JAタウン手しお屋で県の助成を受け実施した新型コロナウイルス対策の消費拡大事業「バイ・シズオカ」キャンペーンの取り組みをPRすることが目的。

取材を受けた番組は「ORANGE」（SBS）と「たっぷり静岡」（NHK）で、流通開発課井谷靖徳課長らがインタビューに応え、手しお屋での取り組みを紹介しました。「ORANGE」の取材ではJA三島函南の協力のもと、手しお屋で販売した「函南すいか」の圃場で生産者のインタビューを収録しました。「たっぷり静岡」の取材では新型コロナウイルスの影響で消費が低迷するワサビについて、本会の取り組みの一つとしてネット通販での販売に力を入れていることをPRしました。

6月末まで実施された「バイ・シズオカ」キャンペーンの結果、本会ショップの売上数量は昨年の3倍となり、中でも函南すいかは昨年の7倍に増加しました。また、新規取扱品目の拡大にも努め、その1つとしてワサビやワサビ加工品を使った商品を販売しました。静岡の旬の農産物を多数販売しているJAタウン手しお屋をご利用ください。







工事の安全を祈願

JAみっかび柑橘選果場起工式

7月3日、JAみっかびは浜松市北区の新柑橘選果場建設地で、起工式を執り行いました。起工式には本会加藤敦啓代表理事理事長が参列し、工事の安全を祈願しました。工事の設計監理は本会一級建築士事務所が行っています。

JAみっかびの新しい選果場は、年間34,000t、日量500tの処理能力を持ち、国内最大規模となります。主なプラントとして、AI選果システムや腐敗抑制装置を備えるほか、家庭選果を代行し生産者の労力を減らす前処理施設など最新鋭のプラントを整備します。また、パレットや産業ロボットを使ったスマート物流システムなども導入予定です。新柑橘選果場は令和3年9月中旬に完成予定です。



▲完成予想図







競争力の強化を

令和元年度静岡県農協葬祭事業連絡協議会総会及び令和2年度第1回静岡県農協葬祭事業連絡協議会

7月7日、静岡県農協葬祭事業連絡協議会（事務局・生活葬祭課）は、静岡市内で「令和元年度静岡県農協葬祭事業連絡協議会総会及び令和2年度第1回静岡県農協葬祭事業連絡協議会」を開き、会員ら25人が出席しました。活動計画の協議や情報交換等による県下農協葬祭事業の活性化と事業基盤の強化を図ることが目的。総会では、令和元年度事業報告と収支決算、令和2年度事業計画と予算等について協議し承認を得ました。総会終了後に開かれた第1回協議会では、各会員の近況と実績の報告、県下統一広報活動、クリンリネスコンテストの開催案等について協議しました。



明日への期待を担う

令和2年度新入職員本採用辞令交付式

7月1日、人事教育課は、県農業会館で「令和2年度新入職員本採用辞令交付式」を開き、加藤敦啓代表理事理事長が本年度入会した新入職員6人に辞令を交付しました。辞令を受けた新入職員は「1日でも早く本会の力になれるようがんばりたい」など一人一人決意表明をしました。

新入職員は次のとおり（敬称略、写真前列右から、カッコ内は所属）。

鈴木　康介（西部支所 みかん園芸課）
佐野　紘一（西部畜産センター）
後藤　史也（東部支所 肥料農薬課）
青木　奏　（企画管理部 経理課）
鈴木　竜平（食糧部 食糧課）
望月　大輝（畜産部 食肉課）



環境モニタリング機器の説明会

「はかる蔵」説明会を開催

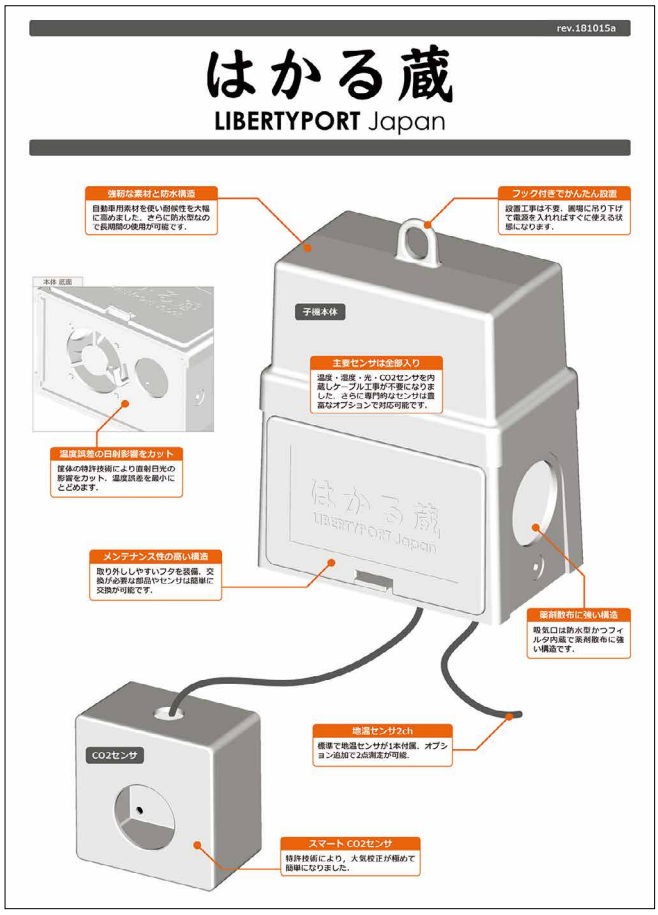
6月9日、営農資材課は、県農業会館と市内の圃場で、ハウス内環境モニタリング機器「はかる蔵」の説明会を開き、県、本会等関係者およそ30人が出席しました。

「はかる蔵」は、九州の企業「リバティーポートジャパン㈱」が開発し、全農が取り扱うハウス内環境モニタリング機器で、気温や湿度、地温や炭酸ガス濃度などを測定しパソコンやスマートフォンアプリで確認できます。

「はかる蔵」は、従来の環境モニタリング機器に比べ設置に特別な工事を必要とせず、センサーやアプリの操作も比較的容易などの特徴を持ち、九州を中心に親機700機ほどの導入実績があります。

説明会では、いちご生産者でもある同社の角裕二代表取締役社長より、所属するJAの部会で同機器を導入し、生産者としての立場で使いやすい機器を開発していることが紹介されました。またデモ機を設置している市内の現地圃場を視察し、生産者との意見交換を行いました。

営農資材課の鈴木久義課長は「収量増加につながる機器として、今後、普及に向け推進していきたい」と話しました。はかる蔵についてお問合せは「みかん園芸部　営農資材課（電話054-284-9726）」まで。



▲はかる蔵チラシ


▲デモ機設置圃場視察


▲圃場に設置された「はかる蔵」

静岡県産地技術課題解決研究会

JA御殿場タマネギ出荷目揃会

6月16日、生産振興開発課は、JA御殿場育苗センターで開催されたタマネギ出荷目揃会に参加し、情勢報告などを行いました。目揃会では、品質の統一を図るため、生産者、JA御殿場職員ら20人が出席し、出荷基準や出荷方法などの確認をしました。JA御殿場でのタマネギ生産は、静岡県産地技術課題解決研究会（事務局・生産振興開発課）で実施する「地域特産振興のための担い手支援・組織強化事業」の一つ。

この事業は、県内各地区で実施されている地域特産作物の振興などの試みに対する支援を通じ、営農指導員の資質向上と担い手農業者の所得向上、経営基盤の安定を図ることが目的。今年度は、JA御殿場での取り組みを含め4課題について実施しています。



営農支援だより

作物・産地・営農・技術・
資材などの情報をお届けします。

柑橘園の雑草管理について

柑橘園に発生する雑草の管理に使われる茎葉処理除草剤には数種類の特徴を持った薬剤が体系的に使用されています。

しかし、同じ系統の除草剤を連続して使うことにより同種の雑草だけが残るとか、除草剤に抵抗性を獲得した雑草が問題となるなどの弊害も有ります。その為に梅雨期には草刈り作業を入れるなど、圃場の年間除草体系を組み立て圃場管理しましょう。

茎葉処理除草剤を活用する

柑橘園で使用されている除草剤には、①茎葉処理除草剤（すでに成長した雑草に散布して枯らすもの）と、②土壌処理除草剤（雑草が発芽する前に土壌表面に散布して草を成長させないようにするもの）があります。

茎葉処理剤には浸透移行型（葉などから植物体全体に有効成分が行き渡る）「グリホサート系」と、接触型（かかった部分を枯らす、吸収移行のほとんどない「グルホシネート系」などの非選択性除草剤があります。

柑橘園の雑草種類について

柑橘園で良く見る雑草には**【春草】**ハコベ・ヤエムグラ・ホトケノザなどがあります。**【夏草】**ではメヒシバ、オヒシバ、ツユクサ、イヌタデ、シロザなど。**【多年生雑草】**としてオオアレチノギク、ヤブガラシ、スギナ、ワルナスビなどが発生します。

柑橘園での体系と使用時期（例）

【春草】四月～五月頃
グリホサート剤100～200倍（タッチダウンiQ・ラウンドアップマックスロード）を50～100ℓ／10a散布
「土壌処理剤」加用

【夏草】七月～八月頃
グルホシネート200倍（ザクサ・バスタ液剤）100ℓ／10a散布

【秋草】九月～十月頃
グリホサート剤100～200倍（タッチダウンiQ・ラウンドアップマックスロード）50～100ℓ／10a散布
又は（グリホサート混合剤）サンダーボルト007）100ℓ／10a散布

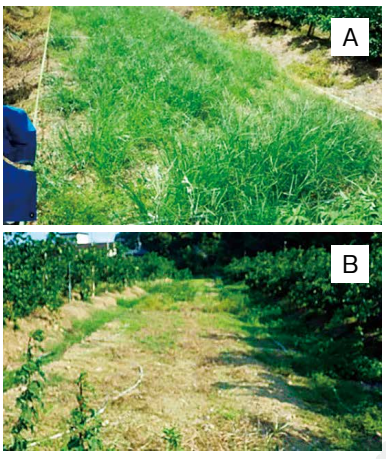
ここに記載する薬剤は推奨する希釈水量・薬量です。「各薬剤の登録内容を確認し使用して下さい」

除草剤の使用方法について

＊除草剤は10a当りの「希釈水量」に「薬液」の投入量で使用します。
（薬量500㎖・希釈水量50ℓを希釈すると（100倍液）になります。）
＊使用時期は「雑草生育期草丈30㎝以下」で使用する適用です。
（雑草が30㎝以上では希釈水量が不足したり、雑草の下にある草に掛からなかったりします、雑草が大きくなる前の除草を心掛ける。）

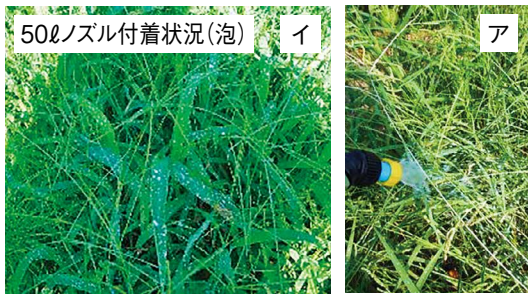
夏草での除草効果を現地で確認

グリホサート系のオヒシバ除草効果
柑橘園での散布量は「500㎖／50ℓ／10a（100倍）」
写真A散布前（7月20日）・写真B散布47日後（9月5日）まで雑草を抑えていました。



除草剤用ノズルを使う

除草剤散布用ノズルには10a当り〔5ℓ・10ℓ・25ℓ・50ℓ・100ℓ〕などが用意されています。



ア）散布後しばらく泡が残るので、かけたところが分かる。
イ）写真は50ℓ用ノズルを使用し、泡の付着状態がこの程度でも付着していれば枯らすことが出来る。

肥料農薬課　専門推進員　望月淳雄
問合せ：054－284－9723

最新研究紹介

農林技術研究所だより

土着天敵を活用したミカンサビダニの総合的防除体系の確立

私が紹介します！



静岡県農林技術研究所
果樹研究センター 果樹環境適応技術科
主任研究員 土田祐大

一　はじめに

ミカンサビダニ（写真1A）はカンキツ樹上に通年で生息しています。本種は芽の隙間で越冬し、発芽と同時に新葉で増殖を始めます。越冬密度が高い場合には新葉を加害し、縮れが生じます。6月頃からは果実にも寄生が始まり、7月までに果実を加害された場合には灰白色の被害となり（写真1B）、8月から9月に加害された場合には黒褐色の被害となります（写真1C）。近年は温暖化の影響により秋の気温が高く推移することが多いため、11月の着色期に加害された場合には、着色不良果となります（写真1D）。



写真1
ミカンサビダニの生態と被害

これまで本害虫は黒点病防除に使用されるジチオカーバメート系薬剤で同時防除されてきました。しかし、一九九〇年代に西日本で本系薬剤に対して抵抗性を獲得した個体群が多発したことから、カンキツに甚大な被害を与えました。近年は静岡県内でもジチオカーバメートを含めた複数薬剤に対して殺虫効果の低い個体群が確認されており、農薬に頼った防除には限界があります。

そこで、カンキツ園に生息する土着天敵のミカンサビダニに対する防除効果を検討するとともに、天敵に影響の少ない薬剤を選抜しました。これらの結果を基にミカンサビダニの総合的防除体系を構築し、現地圃場において天敵の有効性を実証したので紹介します。

二　ミカンサビダニの防除に有効な土着天敵の探索

ミカンサビダニを捕食する天敵として様々な昆虫やダニ類が知られていますが、ここでは静岡県内のカンキツ園に生息する土着のカブリダニ類に注目しました。

カンキツ園には主に3種のカブリダニ類が発生します。このうちミヤコカブリダニはハダニを好んで捕食するため、これまでに本天敵を活用したミカンハダニ防除体系が確立しています。一方、コウズケカブリダニ（以下、コウズケ）（写真2）とニセラーゴカブリダニ（以下、ニセラーゴ）はハダニの捕食はあまり得意でないものの、様々な害虫や花粉を食べて増殖できます。そこで、これら2種のミカンサビダニに対する有効性を評価しました。



写真2　コウズケカブリダニとミカンサビダニ

三　2種カブリダニの放飼と代替餌の提供によるミカンサビダニ抑制効果

コウズケやニセラーゴはミカンサビダニを多数捕食しますが、本害虫のみを餌とした場合は増殖できません。そこで、これらカブリダニの放飼に加え、増殖に適した餌として

「花粉」を与えた場合のミカンサビダニに対する被害抑制効果を検討しました。その結果、被害果率は無処理区で高く、コウズケの放飼と花粉を組み合わせた区で最も低くなりました（写真3）。このことから、コウズケを利用したミカンサビダニ防除体系の構築を目指しました。



写真3
コウズケカブリダニへの花粉提供によるミカンサビダニ被害抑制効果

四　コウズケカブリダニに対する農薬の影響評価

コウズケは、春に増殖を開始し、6月に発生のピークを迎えます。このことから、カンキツ園で春から初夏にかけて使用される農薬の影響を評価しました。その結果、カイガラムシ防除に利用される有機リン系殺虫剤や黒点病防除に利用されるジチオカーバメート系殺菌剤は影響が大きいと評価されましたが、ネオニコチノイド系殺虫剤や灰色かび病やそうか病防除に利用される殺菌剤にはあまり影響を受けませんでした。

五　コウズケカブリダニを保護・活用したミカンサビダニ防除体系の実証

静岡県内のミカンサビダニが常発するカンキツ園において、コウズケの保護・利用による本害虫の防除効果を現地実証しました。

試験は、コウズケが増殖する4～6月末までは天敵に影響の少ない薬剤を使用する「保護区」、この中にコウズケを放飼する「放飼保護区」を設け、従来どおりの防除を行う「慣行区」との防除効果を比較しました。その結果、コウズケは放飼保護区と保護区で多く捕獲され、特に放飼保護区では保護区の約2倍の個体数となりました。一方、慣行区ではコウズケがほとんど確認されませんでした。ミカンサビダニの寄生虫数は慣行区、保護区、放飼保護区の順に少なくなり、被害果率は慣行区で32%、保護区で24%、放飼保護区で17%となりました（図1）。この結果は、コウズケが農薬から保護され、かつ放飼により高密度となったことで多くのミカンサビダニを捕食したことによると考えられます。

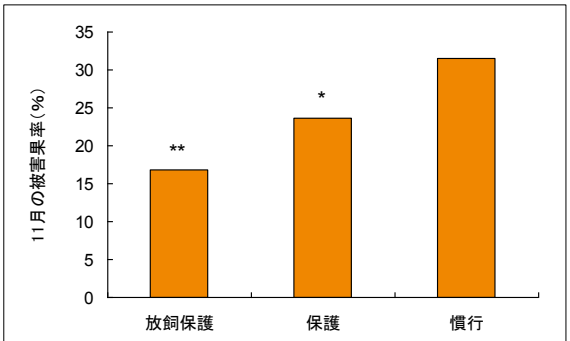


図1　現地圃場におけるコウズケカブリダニの保護と放飼によるミカンサビダニ被害抑制効果
*、**はカイ二乗検定により慣行との間に有意な差があることを示す

六　おわりに

コウズケを保護・活用した防除は薬剤抵抗性を獲得したミカンサビダニに対しても有効な方法です。ただし、本天敵の密度は7月以降に低下するため、実証試験でも確認されたようにミカンサビダニの被害を完全に抑制することはできません。このため、春にマシン油乳剤を散布して本害虫の越冬後の密度を下げる必要があります。また、本害虫の多発園では果実上で増殖する7月や9月に効果の高い薬剤を散布する必要がありますが、夏季はミカンハダニの土着天敵が働いているため、これらの天敵に影響の少ない薬剤を選択します。

カンキツ園に発生するコウズケの密度は年によって異なるため、本防除体系の開始当初は効果が安定しない可能性があります。しかし、数年間継続して実施することでコウズケの密度が安定し、ミカンサビダニに対する防除効果が高まります。今後は地域単位で本防除体系に取り組むとともに、園地内外の植生管理（コウズケの餌となる花粉源を増やすなど）により本天敵が発生しやすい環境を整備することが重要と考えられます。

連絡先　静岡市清水区茂畑
静岡県農林技術研究所
果樹研究センター
果樹環境適応技術科
kajyu-kenkyu@pref.shizuoka.lg.jp

野菜花卉課より「静岡の花」SNSのご紹介

野菜花卉課は、静岡の花の魅力や最新の産地状況をお知らせするため、SNSを開設しました。SNSはインスタグラムとFacebookを展開しており、産地圃場から最新の生育状況や販売店でのフェア情報、この時期おすすめのお花を写真で紹介しています。

本県は高品質でバリエーション豊富なお花がいっぱいの「花の都」。静岡のお花をSNSでもお楽しみください。『JA静岡経済連「静岡の花」』インスタグラム、Facebookのフォローをぜひよろしくお願いします！各SNSは以下のQRコードから確認できます。

▲Facebook

▲インスタグラム



▲「静岡の花」公式インスタグラム

担当：みかん園芸部　野菜花卉課（TEL:054-284-9714）

JAタウン

しずおか「手しお屋」のオススメ商品

JAタウン手しお屋ショップから
この時期おススメの商品を
ご紹介します♪

JA静岡市オリジナルジェラートセット

暑い夏に食べたい！ひんやり冷たいスイーツはいかがですか？今回は、JA静岡市の特産品を使ったオリジナルジェラート・シャーベットセットをご紹介します。

商品セット内容は、長田の桃、スルガエレガント、すっぱみかん、本山茶、きぬむすめ、ラム酒入りドライフルーツの6種で様々な味を楽しめるバラエティセットです。素材を活かした味わいに仕上げています。ご自宅用はもちろんですが、贈り物としてもおすすめのアイテムです！

商品の詳細やお買い求めは右記QRコードを読み取るか、JAタウン手しお屋で検索し商品ページをご確認ください♪当ショップではこの他にも静岡の旬の農産物を多数取り揃えています！ぜひご覧ください。

担当：営業部 流通開発課（TEL:054-284-9728）



▲「オリジナルジェラート6種　JA静岡市」
規格:120ml×6種
価格:3,800円（送料税込）
※別途クール代がかかります

もっと近くに美味しいニッポン
JAタウン
www.ja-town.com

しずおか手しお屋　検索

▲商品ページQRコード

建設部からのINFORMATION

担当　建設部　054-284-9523

大井川農業協同組合

焼津市南部地域の新拠点整備
大富支店建設工事　起工式

４月24日、ＪＡ大井川は、大富支店建設工事の起工式を行ないました。

神事は、新型コロナウィルス感染拡大防止の対策を処置し、ＪＡ役職員工事関係者等、最小限の出席者により厳粛に執り行われました。

現大富支店は、長年にわたり地域に親しまれてきましたが、施設の老朽化にともない、同敷地に建替えることになりました。

新店舗は、敷地を有効活用し、支店および営農経済センターを併設した建物となり、令和２年12月完成、令和３年１月オープン予定です。

新店舗のオープン後、２期工事として、料理教室および加工室の整備を予定しています。

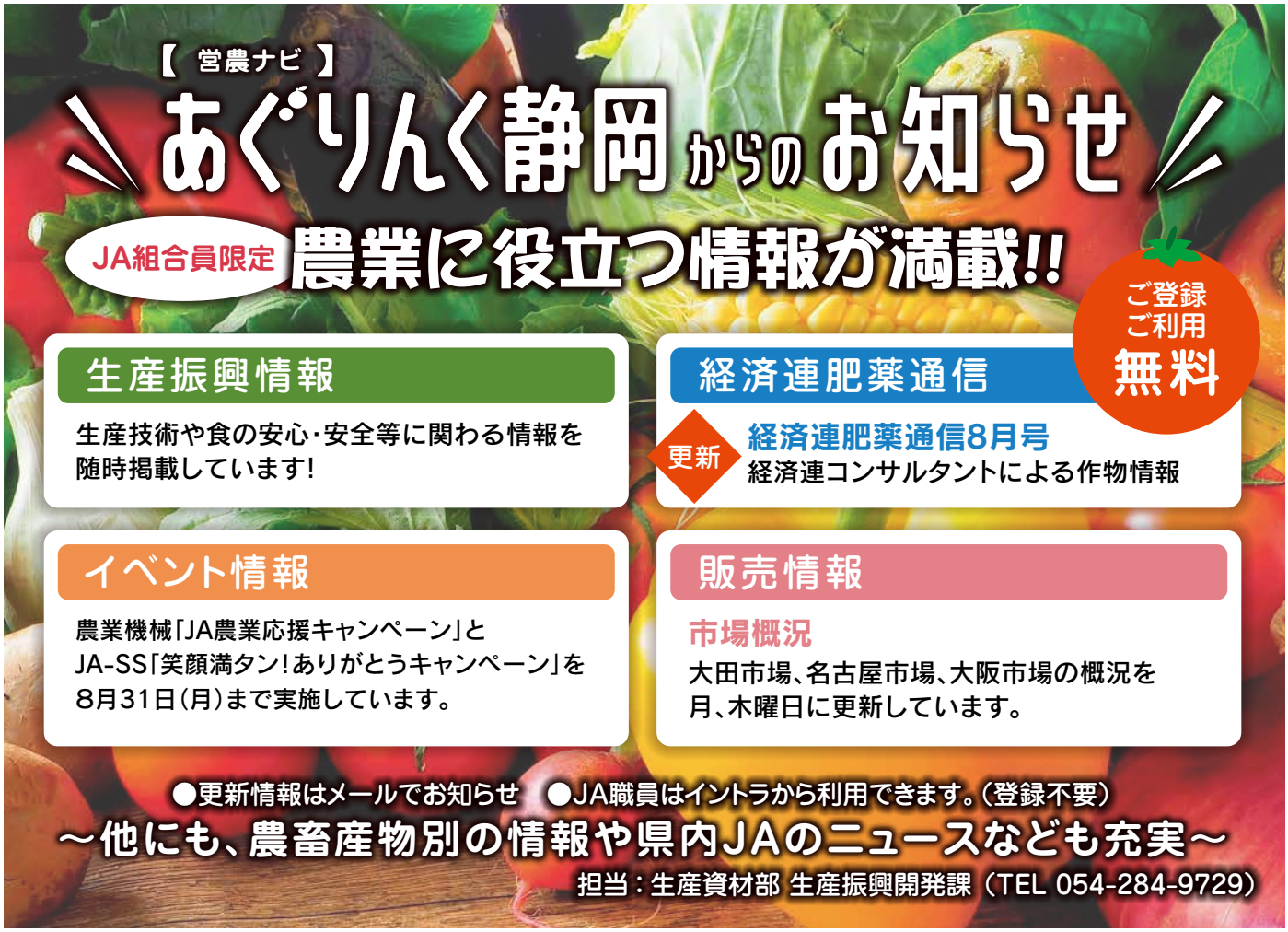
設計監理は、静岡県経済連一級建築士事務所が行なっています。



▲完成イメージ図



▲地鎮の儀の様子



JA静岡経済連
KEIZAIREN情報
毎月1回発行　編集発行／企画　管理課 〒422-8620 静岡県経済農業協同組合連合会 静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
TEL.054(284)9708 FAX.054(284)9780 http://jashizuoka-keizairen.net E-Mail:keizairen@kei.ja-shizuoka.or.jp

組合員のみなさまへ

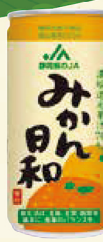
静岡県のJA 美味しいドリンク 好評販売中!!

期　間
2020.4月～
2021.3月末



特保飲料

1 香るほっ茶（ボトル缶）
（490g×24本）
食物繊維（難消化性デキストリン）の働きにより、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適しています。



機能性表示食品

2 みかん日和 濃縮還元果汁70%（数量限定商品）
（190g×30本）
砂糖由来のイヌリン（食物繊維）を使用し、従来のみかん飲料よりさらにおいしく飲みやすくなりました。毎日飲んで健康づくりにお役立てください。



3 果実の香り ぎゅっとみかん 濃縮還元果汁100%（数量限定商品）
（190g×30本）
美味しさを追求し濃縮みかんを大幅に増量（従来製品比2割増）し、健康へのこだわりから"無加糖"で仕上げました。



今期販売終了

4 本物果汁入り スパークリングみかん（限定商品）
（280ml×24本）
静岡産温州みかんの果汁10%入りで、フレッシュ感の高い柑橘系の香りと、"キリッと"パンチのきいた炭酸飲料です。



5 静岡茶 ゆったり
（ボトル缶）
（490g×24本）
太陽のめぐみをたっぷり含んだおいしいお茶。



6 静岡茶 ゆったり
（ボトルハンディタイプ）
（290g×24本）県内産茶葉のみを厳選し煎茶抹を加えた茶飲料です。

産地間提携商品



JAアオレン

7 青森県産 りんごジュース
（195g×30本）厳選した青森県産りんごにこだわり、完熟した「ふじ」を主体にりんご本来の色・味・香りを丸ごと閉じ込めたストレート果汁100%のりんごジュースです。



JA和歌山農協連

8 梅ドリンク（果汁10%）
（195g×30本）厳選梅を使用したさっぱりしたうめドリンクです。



9 A-COOP キャロット&フルーツ
（190g×30本）にんじん汁50%に温州みかん、りんご、うめの果汁50%の果実・野菜100%ミックスジュースです。



10 ちゃレンジ
（280g×24本）茶葉は「一番茶」のみを使用し、果汁飲料でありながら爽やかな後味のすっきりとした新感覚の飲料に仕上がりました。



今期販売終了

11 信州 トマトジュース（限定商品）
（190g×30本）信州の太陽をいっぱいに浴びて真っ赤に熟したトマトをギュッと搾りました。一年に一度トマトが一番おいしい季節に収穫・搾汁し缶に詰めたシーズンパック製法のトマトジュースです。

JA静岡経済連　http://www.ja-shizuoka.or.jp/kei/　JA静岡茶　検索

担当：くらし支援部　生活葬祭課　（TEL 054-284-9740）